



4年生のお話

先週の休み時間のことです。校庭に出ていた私のところへ、4年生の女の子たちがかけ寄ってきました。

その女の子たちは、「校長先生、日本庭園（玄関横の庭園）に大きなチョウがいるんですが、どうすればいいですか。」と聞いてきました。私は、「そのままにしておいてあげなさい。」と答えそうになりましたが、女の子たちの表情がとても真剣だったので、とりあえず日本庭園に行ってみることにしました。

日本庭園に行ってみると、別の女の子たちが待っていました。

その中の女の子の手のひらには、手のひらと同じくらいの大きさの立派なチョウが乗っていました。よく見ると、何かの原因で傷ついてしまったのか、まもなく寿命なのか、飛び立つ様子がありません。でも、かすかに羽や足は動いています。

女の子たちは、「このままにしておいたら、アリが群がってくるかもしれない。」「誰かにつかまってしまうかもしれない。」と思ったのでしょうか。チョウを守るように、優しく手のひらに乗せていました。

私は、その様子を見て、「そのままにしておいてあげなさい。」とは言えなくなりました。そこで、「虫かごに入れて、帰り道、人の目につかないような所で逃がしてあげたらどうですか。」と提案しました。

女の子たちは、面倒くさがる様子もなく、1年生の先生から虫かごを借り、チョウと一緒に下校していきました。

チョウに気持ちがあるかどうかは分かりません。でも、そのチョウは、きっとうれしかったに違いありません。

チョウに代わってお礼を言います。4年生の女の子のみなさん、助けてくれてありがとうございました。



引き続き感染症予防対策にご協力ください

9月12日（日）まで、宮城県に「緊急事態宣言」が発出中です。

現在まん延しているデルタ株は、感染力や重症化率が、今までのコロナウイルスの2倍以上とされています。学校でも予防対策を徹底してまいります。ご家庭での予防にも引き続きご協力ください。